

改革まっただ中の学院報告

追手門学院 理事長 川原 俊明 (小71・中高14期)



追手門学院は、学生生徒のため、母校は卒業生のためがあります。

学生生徒に自信を与え卒業生に誇りを持ってもらうために母校の社会的評価を高めることが不可欠。私は卒業生としてこれをやり遂げる責任があります。理事長就任以来1年半が経過しました。大学を中心に徹底改革をしています。やり過ぎ、



という意見もあります。学内では、暴走老人ならぬ「暴走特急」というあだ名がついている、と聞いてびっくりしました。しかし、私が納得できる結論が出るまで改革のたづなを決して緩めません。

4月1日、認定こども園の開園式。0歳児から大学院生までの一貫連携教育体制が実現しました。追手門学院は全国的にも稀な総合学園に。1966年の大学開学、1969年の幼稚園開学以来の新たな事業展開です。この4月、大学には1700名近くが入学。大学志願者数は7855名と2008年のレベルに戻りました。過去10年の大学志願者数低減傾向に歯止め

がかかりました。あとはV字回復をめざします。大学志願者数1万人、偏差値50以上の中期経営戦略目標は必ず実現させます。新キャンパス地の発表も間近です。地域系学部を筆頭に毎年新学部の開設も企画中。教授会のあり方も変えました。私も教授会に参加します。大学ガバナンスの実現では他大学を大きくリードしています。グローバル社会を見据えグローバルキャリアコースが誕生しました。一年の海外留学を経ても4年間で卒業できるシステムです。学内ではイングリッシュ・カフェを開設し語学環境を支援しています。就職内定率も97.2%と全国平均を上回っています。女子サッカー、女子ラグビーを軸としたスポーツ強化も大きな話題です。茨木の中高は昨年を上回る志願者増で評価を高めました。伝統教育を誇る小学校との連携強化のためにも大手前中高の大改革も断行します。改革にとって悪しき伝統ならば、私は打ち破るつもりです。



追手門学院PTA、山桜会懇親会

塩見 啓二 (小85・大手前中高28期)

山桜会役員と追手門学院 PTA役員との懇親会が校友会山桜会の主催にて3月25日にホテルモントレ大阪で開催されました(出席者34名)。小学校・大手前中高・茨木中高的新・旧PTA役員が一堂に会し、追手門学院理事長で前山桜会会長の川原理事長も顧問として出席されました。

今年度の追手門学院小学校PTA会長は山桜会広報の評議員である私(塩見啓二:小85・大中高28)が小学校東田校長先生の命により就任しました。また、大手前中高には若林紀男様・茨木中高には藤原亮様が会長に就任しましたが、両氏とも卒業生であり3校とも追手門学院卒業生



がPTA会長となる年となりました。

川原理事長からは今後の追手門学院の方針をお聞かせいただき、各校のPTA役員



も今年1年の抱負を語りましたが、追手門学院を向上させる意気込みが感じられました。また、田口山桜会会長や山桜会役員からは期待を込めた言葉も多くあり、親睦を深めることが出来ました。山桜会としてはPTA役員の方針を聞くことができる有意義な会となりました。また、PTA役員も卒業生の意向を聞ける機会を与えていただいた山桜会に感謝していました。

また、懇親会中に小・中高3校のPTA合同連絡会を11月に開催することが決定しましたが、今年は大学のPTAも含めた会とすることが提案されました。保護者アンケートで「幼稚園から大学院まである総合学園の長所を生かす努力がなされていない」と指摘され、各校連携が今後の追手門学院の課題となる中で、問題を克服する一助となる会となりました。

100周年
特別委員会

山桜会は、平成28年に創立100周年を迎えます。山桜会にとって大きな節目ですので、100周年を契機として山桜会のさらなる発展を期して、特別委員会を設置し準備を進めていくことになりました。同委員会につきましても、皆様のご意見・ご希望などをいただければ幸いです。

山桜会副会長 平泉 憲一 (茨木高25期)